

2019年5月28日

「自助の日」創設に合わせ金融リテラシー教育を推進 ～『「お金」と「保険」の授業』の開催～

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社（社長：大場 康弘、以下「当社」）は、一般社団法人 生命保険協会（会長：稲垣精二、以下「協会」）が制定した記念日「自助の日」に際して、金融リテラシー向上に関する当社の取組みをお知らせします。

1. 背景・経緯

協会は、5月28日を、人生100年時代に豊かな人生を送るために自らのライフプランを描き、自らの将来に備えていく“自助”について考える日という願いをこめて「自助の日」と制定しました。5月28日（5つ葉）には、“自助”について考えるために大切な「希望、知恵、財運、健康、愛」の意味が込められており、生命保険業界は、“自助”について考えるうえで必要なリテラシーの向上に努めていきます。

そのなかで当社は、一昨年より小学生を対象に『「お金」と「保険」の授業』を無償で広めていく活動を行っています。諸外国と比べて金融経済教育が遅れていると言われる日本において、このような活動を行うことで、授業を受けた子ども達が「お金」と「保険」について興味を持ち、考えるきっかけをつくること、また 少子高齢化が急速に進み、人生100年時代といわれている世の中で子供たちが生き抜くための知識を習得することを目的として行っています。

<授業実施先一覧>

実施時期	実施対象
2017年度	小学校1校、百貨店1カ所
2018年度	小学校4校

2. 今後について

今後も当社はこの取組みを日本全国および学校教育に広げ、人生100年時代を生き残るための金融リテラシーの向上に貢献することで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

以上